Press Release

2017 年 3 月 2 日

各 位

THE PRIME POD 京都

フェリチタ三条木屋町
『THE PRIME POD 京都』 2 月 15 日オープン

『THE PRIME POD 京都』(京都市中京区三条通、支配人:岡野 薫)は、商業ビル「フェリチタ三条木屋町」の 7～10 階に 2017 年 2 月 15 日(水)にオープンしましたのでお知らせします。「THE PRIME POD」としては、2016 年 10 月に開業した「THE PRIME POD 銀座 東京」に次ぐ施設となります。

1.「THE PRIME POD」について

「THE PRIME POD(ザ プライム ポッド)」は宿泊に必要な機能を厳選し、コンパクトながら“まゆ”(Pod)の中にいるような安心感・ 充足感を感じられる新型ホテルです。「就寝」、「グルーミング(シャワー、洗顔など)」の機能に特化することにより、リーズナブルな宿泊を実現しつつ、セキュリティにも配慮し安心感を高めています。

2. コンセプト・デザインについて

『THE PRIME POD 京都』は新しいタイプの POD 型就寝スペースと、京都の伝統的な「和」のイメージが融合した新感覚のホテルになっております。POD は雪洞(ぼんぼり)に灯りがともった木屋町先斗町の街並みがスタイリッシュに表現されています。9 階のロビーには京町家の小上がりをイメージしたラウンジを併設し、朝食等のご提供の他、ご宿泊者同士、スタッフとの語らいの場となっています。ラウンジの窓面には京都市内、東山の山並を一望できる眺望が広がり、春には眼下に流れる鴨川、高瀬川沿いの桜並木をお楽しみ頂けるものと思われます。開業以来、ご宿泊頂いた方にはそれらの特長をはじめ、大変ご好評を頂いており、これから始まる本格的な京都の桜のシーズンに向けて、既に多くのご予約を頂いております。

レセプション

ラウンジ

STANDARD POD [Type-A]

STANDARD POD [Type-B]

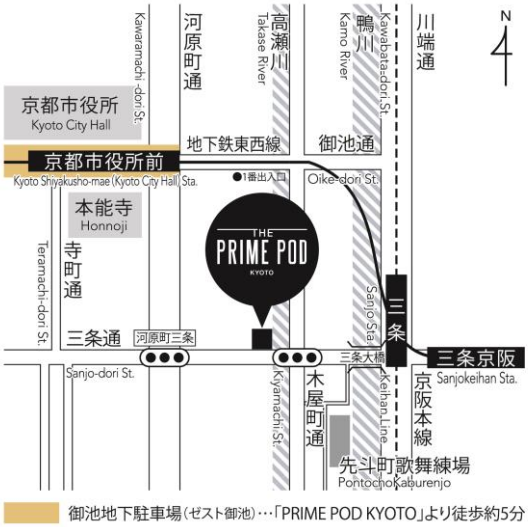
GRAND POD

3. 立地について

「フェリチタ三条木屋町」は、三条通に面した河原町と木屋町の間に立地し、阪急電鉄、京阪電鉄、市営地下鉄、バスを利用可能なことから、京都の主要な観光スポットだけでなく、大阪などへのアクセスが非常にスムーズです。訪日外国人旅行者が増加の一途をたどる中、宿泊施設の供給は社会的な課題となっています。また、宿泊施設に対するニーズも多様化により、機能特化型ホテルの需要も増加しており、立地のよい当ビルにて、商業ビルの付加価値向上とテナントやエリアの活性化の新たな手法として「THE PRIME POD」を開業いたしました。

“滞在に必要な機能を厳選し、コト消費にむけた情報が集まる。”「THE PRIME POD 京都」を是非ご利用下さい。

以 上



【本件に関するお問い合わせ先】
THE PRIME POD 京都 岡野・荻田
TEL：075-252-0341

4. ホテル概要

フェリチタ三条木屋町

名　　称	: THE PRIME POD 京都
所　在　地	: 京都市中京区三条通河原町東入ル中島町 フェリチタ三条木屋町　7~10F
交通アクセス	: 京阪電鉄本線 「三条」徒歩 5 分 京都市営地下鉄東西線 「京都市役所前」徒歩 3 分 阪急京都線 「河原町」徒歩 8 分
運　営　者	: クロスホテルズ株式会社
ユニット数	: 150
ユニット仕様	・壁掛け TV（19 インチ、角度調整可） ・ラゲッジスペース ・調光機能付き照明、読書灯 ・ナイトパネル（デジタル時計、AC コンセント、USB） ・セキュリティ BOX（スマホや PC を充電しながら収納可） ・ベッド（W900×L2,000 以上）
サニタリー	・無料タオル ・無料シャンプー＆ボディソープ ・ヘアドライヤー ・ナイトウェア ・ランドリーコーナー（洗濯＆乾燥機）
ラ ウ ン ジ	・無料 WiFi ・カフェ＆バー
セキュリティ	・24 時間有人レセプション ・24 時間監視カメラ ・カードキーによるセキュリティ制御 （女性専用フロアの設定）
ロ　　ゴ	:「THE」の書体を左右に幅広く拡張することで、「人」、「情報」、「文化」が集まり、混ざり合う場所として、様々な価値観を許容するキャパシティーの広さ・深さ、存在感を表現しています。また、藍色の配色は、POD における深い眠りをイメージしています。
U　R　L	http://theprimepod.jp/ kyoto/

デザイナー　　FHAMS（ファムス）

THE PRIME POD 京都のデザイナーには、大阪のレストラン「THE GARDEN ORIENTAL OSAKA」をはじめ、ホテル・レストラン業界で高い評価を受けている「FHAMS 」を起用。「シェアしたくなるスタイル」をコンセプトに機能性、デザイン性を満たした京都らしい設えの空間を具現化。